

## 2010 年度私立大学図書館協会西地区部会

### 東海地区協議会総会 議事要録

日時：2010年5月28日（金）14時00分～15時10分

場所：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館 5階多目的室

出席：25館 32名 （委任状提出館26館）

※私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会則第8条2項により本総会成立

議事に先立ち、理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館長（岸）より開会の挨拶が行われた。

#### 【議長選出】

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館長（岸）を議長に選出し、下記の議事を協議した。

#### 【議事】

##### [報告事項]

以下の通り、報告事項は、資料に基づき理事校から一括報告した。

##### 1. 2009 年度東海地区協議会事業報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.5-8）に基づき、昨年度は総会および臨時の拡大常任幹事会を含む4回の常任幹事会が行われたとの報告があり、常任幹事会での協議事項について説明があった。

##### 2. 2009 年度東海地区協議会研究会事業報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.9-13）に基づき、運営委員会ならびに各担当者会議の活動について、また、2回の研究会および海外出版社合同勉強会、図書館見学会についての報告があった。

##### 3. 2009 年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.14）に基づき、会議が行われたと報告があった。

##### 4. 東海地区協議会ウェブサイト運用に係る申し合せについて

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.15-18）に基づき、情報の流れを明確にするため改正を行ったと説明があった。

## 5. 2009 年度協会関連事項報告

### (1)部会・協会関係および関連団体報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.19-22）に基づき、報告が行われた。

### (2)協会委員会報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.23-27）に基づき、協会委員会の報告が一括して行われた。

- ・ 協会賞は、2 件申請があり、審査の結果 1 件が採択された。
- ・ 研究助成は、前年度から引き続き助成対象となる研究が 2 件あり、また新規で 1 件の個人研究が採択された。
- ・ 国際図書館協力委員会の実施事業として、搬送事業、海外派遣研修、海外集合研修が行われた。
- ・ 協会ホームページ委員会では、ウェブサイト運営に関するサイトポリシーとリンク登録手続等について検討された。

### (3)第 71 回（2010 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会について

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.28）に基づき、報告が行われた。

### (4)私立大学図書館協会 2010 年度西地区部会総会について

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.29）に基づき、報告が行われた。館長懇話会については、昨年度に引き続き原則として館長のみとすることが報告された。

## 6. 新規加盟館及び館名変更について

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.19）に基づき、館名変更 2 校の紹介があった。

## [審議事項]

### 1. 2009 年度東海地区協議会決算（案）および監査報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.31-33）に基づき、標記決算案について説明が行われた。広告掲載の減収による差異、預金利息減少による差異、臨時の会議開催による会議費の超過、「館灯」刊行費等について説明がなされた。併せて総会資料（p.34）に基づき、研究会、図書館管理・運営実務責任者会議の決算案について説明が行われた。

引き続き、監事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p.35）に基づき、決算案について

4月23日に会計監査を行い、適正であると認められたとの報告があり、決算案は承認された。

## 2. 2010年度東海地区協議会事業計画（案）

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.36）に基づき、標記計画のとおり実施するとの説明があり承認された。併せて協会ならびに関連団体の主な行事予定が紹介された。

## 3. 2010年度東海地区協議会予算（案）

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.37-39）に基づき、説明があり承認された。主な点は次のとおりである。

### <収入の部>

- ・ 加盟会費は会費算出根拠となる各加盟校学生数の変動により予算額に差異が生じた。
- ・ 脱退予定校があるが、私立大学図書館協会総会での承認前のため、予算には反映させていない。
- ・ 「館灯」広告掲載費（p.39）については、2009年度の決算額を反映させた。

### <支出の部>

- ・ 研究会支援費については、今年度は図書館実務担当者研修会開催年のため予算額を20万円増額とした。
- ・ 「館灯」刊行費は、前年度決算では多額の残が出たが、今年度は図書館実務担当者研修会開催年でページ数の増加が見込まれるため、昨年度と同額した。

## 4. 2010年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案）

研究会運営委員会委員長校中京大学（中河原）より総会資料（p.40-41）に基づき、今年度の事業計画と予算案について説明があり承認された。

## 5. 2010年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算（案）

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.42）に基づき、事業計画と予算案について説明があり承認された。

## 6. 2010年度東海地区協議会役員校および委員校（案）

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.43）に基づき、2010年度の役員校および委員校について説明があり承認された。

## 7. 2011年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会役員校・当番校等（案）

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（岸）より総会資料（p.44-47）に基づき、2011年度以降の東海地区協議会役員校等について説明があった。西地区部会役員校による話し合いにより、西地区部会が担当する会長校・部会長校は、各地区の大学規模を考慮に入れ

たローテーションで担当地区を決めることとなった。それに伴い、東海地区において、会長校・部会長校については、学生数 8,001 人以上の大学によるローテーションとしたい旨の提案があり、役員校ローテーション表（案）とその運用原則が示され、いずれも承認された。

以上